

令和2年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策No.	8	緑や水辺を保全・創造し、人や生物にやさしい都心環境をつくる		
所管部	街づくり支援部	関係部	環境リサイクル支援部	

2 政策がめざす方向性

区内の豊かな緑や運河、お台場の海、古川の水辺を創出するなど、誰もが自然と親しめる港区の魅力を維持・増進します。雨水の地下への浸透や古川の清流復活・再生の取組、道路の透水性・保水性の舗装への変更など健全な水環境の保全・向上をめざします。昆虫や野鳥など身近な生きものがすめるビオトープづくりや生物多様性の普及・啓発を進めるとともに、公共施設や民間建築物の屋上緑化・壁面緑化など緑の保全・創出を行い、人や生物にやさしい都心環境をつくります。

3 施策の取組状況（詳細別紙施策評価シート）

評価区分 A（達成）、B（概ね達成）、C（達成が不十分）

①	施策名	緑と水のネットワークの形成	評価	A
	成果目標	区の特徴的な魅力である運河に沿った緑豊かな散歩道がネットワーク化され、うるおいのある街並みを形成している		
②	施策名	水環境の保全・向上	評価	A
	成果目標	雨が地面に浸透し、河川・海へと流れていく水環境の形成と都市型水害対策が進んでいる		
③	施策名	生物多様性の保全・再生と持続的な利用	評価	B
	成果目標	区民の生物多様性に対する意識が高まり、生きものと共生できるまちづくりが進んでいる		
④	施策名	みどりの保全と創出	評価	B
	成果目標	緑の保全と創出の取組が推進され、快適な都市環境の形成が進んでいる		
⑤	施策名		評価	
	成果目標			
⑥	施策名		評価	
	成果目標			

4 予算額・決算額・執行率（単位：千円）

年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度
予算額	187,255	119,859	64,985
流用・補正	△ 7,761	△ 2,411	—
決算額	169,479	107,357	—
執行率	94.4%	91.4%	—

予算・決算額の推移

- ・水辺の散歩道の整備が平成30年度に終了したこと等から、令和元年度は予算額が減少しました。
- ・隔年実施（3年に1回）している道路植栽の定期点検が無いことや、「泳げる海、お台場」における事業費が縮小したこと等から、令和2年度は予算額が減っています。

5 政策を取り巻く社会経済状況等			
計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況 ・人口動向（年少人口、生産年齢人口、老年人口） ・財政状況など	・東京2020大会を契機にトライアスロン競技が実施されるお台場において、「泳げる海、お台場」の実現に向け、東京2020大会の次の2024大会開催都市であるパリ市と連携し、海水浴イベントであるお台場プラージュが開始されました。 ・水辺空間の魅力を更に向上させる取り組みの一環として、令和元年度から「運河に架かる橋りょうのライトアップ」が実施されています。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、民間建築計画の延期や中止により、水循環機能の向上に寄与する、雨水浸透施設の設置が鈍化することが懸念されています。		
区民ニーズ等 ※区民アンケートや調査、区民から寄せられた意見等	・みなとタウンフォーラムでは、環境の変化に対応した緑の充実や、親しみやすく利用しやすい水辺環境の整備に関する取り組みが求められています。 ・第32回港区民世論調査では、取り組みに対する区内全体の評価として「十分」が50.9%となり、「不十分」26.9%を上回っていますが、赤坂地区においては「十分」と「不十分」が33%の同数に留まっています。		
6 一次評価（所管部門による評価）			
政策の達成状況	施策の達成度	A:達成 2 B:概ね達成 2 C:達成が不十分 0	
	・お台場プラージュ（海水浴）の取組は、地域住民で構成するお台場プラージュ実行委員会や東京都との連携など、着実に浸透しています。 ・水辺の散歩道の整備は、芝浦西運河沿い緑地として整備が完了しました。 ・生物多様性の保全に向けた普及・啓発活動については、徐々に浸透していますが、観察会や勉強会等区民参画の事業に関しては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、事業実施の見込みが立たない状況です。		
今後の政策の方向性 重点的・優先的に取り組む施策、課題等 ※国や東京都、他団体の動向、区民ニーズ等を踏まえる	・港区人口推計（令和2年3月）において、港区の将来人口は一貫して増加を続け、令和9年には30万人を突破すると見込まれています。 ・緑や水辺に関する環境整備については、今後増加する区民の期待に対応するため、多くの区民や来街者が快適に歩行できる緑陰の確保に向けた道路緑化の推進などを図る必要があります。 ・水環境や生物多様性の保全に向けては、区民や事業者向けの環境学習やフォーラムの実施など、啓発活動を推進しつつ、新たな周知啓発の取り組みについても検討していく必要があります。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、東京2020大会が延期される中、令和2年度においては、お台場プラージュ（海水浴）の実施見込みが立っていません。		
7 二次評価（港区行政評価委員会による評価）			
政策の達成度	☑ A:達成 □ B:概ね達成 □ C:達成が不十分		
	・施策「緑と水のネットワークの形成」と「水環境の保全・向上」については、大半の活動指標が目標に達しています。 ・政策としても総合して成果目標を達成しているものと評価します。		
今後の政策の方向性 重点的に取り組む施策・課題	・イベント等の普及啓発事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた新たな実施方法を検討する必要があります。 ・「区有施設の緑化の推進」の活動指標について、当該年度に建設される区有施設の特性に大きく左右されることから、単年度の実績値ではなく複数年度の累積値で評価する等の見直しが必要です。		

施策評価シート

施策① 緑と水のネットワークの形成					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	土木課	関係課	芝浦港南地区総合支所協働推進課、環境課		評価	A:達成
成果目標	区の特徴的な魅力である運河に沿った緑豊かな散歩道がネットワーク化され、うるおいのある街並みを形成している					
成果目標の達成状況及び評価	緑豊かな散歩道のネットワーク化と、うるおいある街並みの形成に向け、運河沿い緑地（芝浦西運河）の整備や道路緑化を推進しました。 再開発事業に伴い、古川の親水化を予定していますが、再開発事業の事業の遅れに伴い整備が遅延しています					
今後の施策の方向性・課題	運河沿い緑地の整備と道路緑化を着実に推進すると共に、古川の親水化に向け再開発事業者等を適切に指導していきます。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 水辺の散歩道の整備						土木課
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元(2019) （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
水辺の散歩道の整備延長	8,900m	9,080m	9,080m （+180m/年）	9,080m （±0m/年）	9,080m （±0m/年）	A:達成
達成状況	平成30年度に運河沿い緑地（芝浦西運河）を180m整備しました。					
今後の方向性・課題	水辺の散歩道の整備に際しては、内部護岸の整備に加え、運河沿緑地から道路への出入口の確保が課題になっています。					
2 「泳げる海、お台場」の実現に向けた取組						芝浦港南地区総合支所協働推進課、環境課
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元(2019) （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
お台場海水浴の開催日数	2日間/年	9日間/年	6日間/年	8日間/年	0日間/年	A:達成
達成状況	水質改善や水質予測に向けた様々な取組を進めるとともに、地域住民やパリ市、東京都等の関係機関と連携し、「泳げる海、お台場」の実現を図ってきました。 なお、東京2020大会の1年延期、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度の事業実施の見込みが立っていません。					
今後の方向性・課題	地域住民で構成するお台場ブラージュ（海水浴）実行委員会をはじめ、パリ市、東京都等の関係機関と連携することで、着実に取組が浸透してきました。 引き続き、「泳げる海、お台場」の取組を進めることで、地域住民等にお台場の海への愛着を深めてもらいます。					

3 道路緑化の推進							土木課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元(2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
道路緑化整備に向けての取組状況及び道路植栽の維持管理実績	道路植栽の維持管理 (街路樹5,391本 植樹帯15,097m)	道路植栽の維持管理 (街路樹5,391本 植樹帯15,097m) 街路樹の健全度調査実施	道路植栽の維持管理 (街路樹5,391本 植樹帯15,097m) 街路樹の健全度調査実施	道路植栽の維持管理 (街路樹5,413本 植樹帯15,280m) 街路樹の健全度調査実施	道路植栽の維持管理 (街路樹5,431本 植樹帯15,280m) 街路樹の健全度調査実施	A:達成	
達成状況	道路植栽については、日常の目視点検等に加え、夏季と冬季に剪定作業を実施しました。また、定期点検として、道路植栽の健全度を把握するための調査を実施しました。						
今後の方向性・課題	道路植栽の適切な維持管理に向けては、台風による倒木を防ぐ樹種の選定や、景観に加え、地域住民の意見を反映させるなど、地域特性に配慮した対応が求められています。						
4 古川の親水化							土木課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元(2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
親水化に配慮した河川空間の整備か所数	整備済2か所	整備済2か所 整備中2か所	整備中1か所	整備中1か所	整備中1か所	B:概ね達成	
達成状況	再開発事業である白金一丁目東部北地区の区域内において1か所整備中となっていますが、三田小山町西地区については、再開発事業の組合設立が遅延しており、着手に至っていない状況です。						
今後の方向性・課題	引き続き、水辺に近づく川沿いを散策できるうるおいのある空間を目指して、事業者を指導・誘導します。						

施策評価シート

施策② 水環境の保全・向上						A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	土木課		関係課		評価		A:達成
成果目標	雨が地面に浸透し、河川・海へと流れていく水環境の形成と都市型水害対策が進んでいる						
成果目標の達成状況及び評価	雨水浸透施設の設置促進については、要綱に基づき雨水流出抑制施設の設置を積極的に事業者等に指導し、目標を達成しました。 また、古川の清流復活に向けた指標となる古川のBOD値については、測定時期や天候によって数値が変化しやすい状況になっています。						
今後の施策の方向性・課題	浸透施設の設置を促進するように積極的に事業者を指導していきます。 今後は、新型コロナウイルス感染症の影響で建築計画の延期や中止等の可能性があり、浸透施設の設置促進の鈍化が懸念されます。						
施策の推進のため取り組んでいる事業							
1 雨水浸透施設の設置促進						土木課	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
雨水浸透施設の浸透量	65,592m ³	71,292m ³	66,758m ³ (+1,166m ³ /年)	70,120m ³ (+3,362m ³ /年)	72,384m ³ (+2,264m ³ /年)	A:達成	
達成状況	申請される建築計画によって浸透施設の浸透量が増減しますが、窓口で積極的に浸透施設の設置を促すことで目標を達成しました。						
今後の方向性・課題	引き続き、浸透施設の設置が促進されるよう、積極的に事業者を指導していきます。						
2 古川の清流復活						土木課	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
古川のBOD値	3.1mg/l (平成28年度)	1.3mg/l以下	2.1mg/l	1.6mg/l	1.6mg/l	A:達成	
達成状況	測定時期や天候などによっては数値が変わる状況ですが、目標を達成しました。 ※目標値は、近年の年平均で一番良好な数値としています。 (BOD値の環境基準は、8mg/l以下)						
今後の方向性・課題	古川の流路整正やアドプト活動による古川の清掃活動を実施するとともに、城南河川清流復活事業により高度処理水を送水することで流量を常時確保し、古川の水質を良好に確保します。						

3 水循環機能の向上						土木課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
港区内において雨水が浸透する面積の割合	26.55%	27%	26.50% (0.05%減/年)	27.50% (1.00%減/年)	27.50% (0.00%減/年)	A:達成
達成状況	建物計画の数や規模により、雨水が浸透する浸透施設の数量が増減しますが、事業者などを適切に指導することで目標を達成しました。					
今後の方向性・課題	浸透施設の設置が促進するよう、引き続き積極的に事業者などを指導します。					

施策評価シート

施策③ 生物多様性の保全・再生と持続的な利用						A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	環境課		関係課	各地区総合支所		評価	B：概ね達成
成果目標	区民の生物多様性に対する意識が高まり、生きものと共生できるまちづくりが進んでいる						
成果目標の達成状況及び評価	区民参画の事業に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の事業実施の見込みが立たず、目標達成が困難な状況ですが、区有施設及び事業者を指導誘導する事業に関しては、概ね目標を達成しています。						
今後の施策の方向性・課題	みどりを守る条例に基づき、引き続き緑化基準の順守の指導に努め、生物多様性に配慮した緑化を進めます。また、生物多様性に関する認知は、徐々に浸透してきており、今後は、関心を持たない方々への普及・啓発について創意工夫に努めます。						
施策の推進のため取り組んでいる事業							
1 保育園、幼稚園、学校への環境学習の支援							環境課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
適正に管理されている学校ビオトープの数	4 か所	9 か所	5 か所 (+1か所/年)	6 か所 (+1か所/年)	6 か所 (±0か所/年)	B：概ね達成	
達成状況	ビオトープの支援を行う施設数の伸びが当初目標に届かなかったものの、適正に管理されているビオトープの数は少しずつ増加し、概ね目標は達成しました。						
今後の方向性・課題	保育園、幼稚園でのビオトープ箇所が増えていることが判明し、今後、小学校以外の施設にも広くビオトープ支援を働きかけ、ビオトープの適正な管理及び普及を図っていきます。						
2 ビオトープづくりとエコロジカルネットワークの形成							環境課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
エコロジカルネットワークの形成に向けた生物多様性に配慮している緑化施設の完了件数	30件	90件	88件 (+58件/年)	77件 (-11件/年)	70件 (-7件/年)	B：概ね達成	
達成状況	東京2020オリンピックパラリンピックに向けた施設建設が鈍化してきていることに加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、さらに施設建設は減るものと予想されますが、概ね目標は達成します。						
今後の方向性・課題	引き続き、緑化計画書制度により生きものの生息に配慮した植栽の指導・誘導に努め、エコロジカルネットワークの形成の推進を図ります。						

3 生物多様性の普及・啓発と様々な活動主体の交流							環境課
活動指標		H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
生物多様性みなとフォーラムの各事業における参加者合計数		270人/年	300人/年	1159人/年	521人/年	0人/年	A：達成
達成状況		平成30年度～令和元年度は、事業者の積極的な活動による事業回数の増加に伴い大幅に参加人数が増加し、目標を大きく上回っていましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施の見込みが立っていません。					
今後の方向性・課題		今後も、区と事業者とのより一層の情報共有を図るとともに、相互の事業の協働により、生物多様性の普及・啓発を推進します。					
4 生物多様性の学びをととした環境学習の推進							環境課
活動指標		H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
生きもの観察会の参加者数		30人/年	60人/年	26人/年	25人/年	0人/年	C：達成が不十分
達成状況		令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により数が減っており、令和2年度に関しても、事業実施の見込みが立っていません。					
今後の方向性・課題		区の生物多様性のシンボルとなる生きもののカワセミに視点を当てた学習などを盛り込んだ観察会などの工夫により、参加者数の増加を図ります。					
5 外来種の注意喚起と啓発							環境課
活動指標		H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
外来種勉強会の参加者数		29人/年	30人/年	29人/年	－	－	－
達成状況		区事業として行っていた平成30年度は目標を達成できており、令和元年度からは指定管理者の事業へ移行しています。					
今後の方向性・課題		外来種勉強会による注意喚起については、公園等の指定管理者の事業へ移行しており、今後、環境課としては、区職員及び指定管理者に対する外来種講習会等を実施し、啓発と注意喚起に努めます。					

施策評価シート

施策④ みどりの保全と創出					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	環境課	関係課	各地区総合支所		評価	B：概ね達成
成果目標	緑の保全と創出の取組が推進され、快適な都市環境の形成が進んでいる					
成果目標の達成状況及び評価	区有施設の緑化率は、達成が不十分ですが、緑化計画書の件数に関しては、オリバラに向けた街づくりが進み、近年の申請数の伸びがあったため、達成できると予測されます。また、保護樹木の登録本数は微増傾向により達成できると予測されますが、屋上緑化は、実績のばらつきに加え新型コロナウイルス感染症の影響により、達成不十分と予測されます。					
今後の施策の方向性・課題	引き続き緑化計画書制度に基づいたみどりの保全及び創出に努めるとともに、新たな緑化の可能性も検討し、みどりの質と量の向上を図ります。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 区有施設の緑化の推進						環境課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
区有施設の整備により実施された敷地の緑化率	15%/年	20%/年	12%/年	8%/年	8%/年	C：達成が不十分
達成状況	区有施設において、基準緑化面積は確保しているものの、緑化率20%は、通常の緑化基準を超える厳しい数値であり、達成が困難な状況です。					
今後の方向性・課題	区有施設に求められる機能・役割が多様になることに伴い建築面積や建蔽率が高くなる傾向にあるため、敷地に対する緑化率の向上は物理的に難しく、敷地規模に応じた緑化率の数値の見直しも視野に入れて検討する必要があります。					
2 緑化計画書制度による緑化の推進						環境課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元(2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
当該年度に提出された緑化計画書の件数	125件	485件	265件 (+140件/年)	387件 (+122件/年)	467件 (+80件/年)	A：達成
達成状況	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、提出件数の鈍化が予測されますが、東京2020オリンピックパラリンピックに向けて、平成30年度、令和元年度の提出件数が多かったことから、累積件数である目標は達成できる予測としています。					
今後の方向性・課題	引き続き、みどりを守る条例に基づく緑化計画書制度により、民間施設及び公共施設ともに、緑化の推進及び誘導を図ります。					

3 区民との協働によるみどりの保全創出と普及・啓発						環境課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元(2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
保護樹木の登録本数	645本	660本	662本 (+17本/年)	667本 (+5本/年)	670本 (+3本/年)	A：達成
達成状況	保護樹木は、指定する樹木がある一方で、所有者の都合により登録を解除される樹木もあることから、合計の登録本数が増えづらい面もありますが、目標は達成できています。					
今後の方向性・課題	各地区総合支所と連携し、保護樹木制度の周知啓発を図ります。また、樹木所有者の管理の負担の軽減を図る効果的な取組についても今後検討する必要があります。					
4 屋上緑化・壁面緑化の推進						環境課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元(2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
緑化助成により創出された屋上緑化面積	165㎡	1,165㎡	210㎡ (+45㎡/年)	347㎡ (+137㎡/年)	447㎡ (+100㎡/年)	C：達成が不十分
達成状況	年度により申請件数と実績値にばらつきがあり、実績予測が掴みづらい状況です。令和2年度は、当初の助成相談は2件ありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した予測値とし、目標達成は困難と予測しました。					
今後の方向性・課題	実績のばらつきが大きいため、一定の実績値が確保できるよう、制度の周知啓発に努めつつ、新たな緑化の取組も検討します。					